

アライグマ問題を総合的に考えるシンポジウム

ヨーロッパと日本

プログラム

アライグマは日本だけでなく、ヨーロッパでも外来種として問題となっています。

ヨーロッパにおけるアライグマの現状、日本でのアライグマの生態および感染症や対策に関するこれまでの成果と最新情報を整理し、今後のアライグマ対策について総合的に考えていきます。

日時：6月27日（日） 10:00～17:00

会場：日本獣医生命科学大学 医療センター5階 C501 教室

※シンポジウム終了後生協食堂にて懇親会があります。

主催：関西野生生物研究所

共催：日本獣医生命科学大学野生動物教育研究機構

後援：生物多様性 JAPAN、IUCN 日本プロジェクトオフィス、日本野生動物医学会、WWF ジャパン、IUCN-J、NACS-J

※平成22年度公益信託日本経団連自然保護基金の助成を受けて開催されます。

参加費：無料※懇親会参加者は会費4000円。事前申込み制となります。

氏名、所属、連絡先および懇親会の出欠を下記までお知らせください。

連絡先：日本獣医生命科学大学 野生動物学教室（担当）加藤

<Email> racsympo627@gmail.com <FAX> 0422-34-6201

※会場の関係で、定員100名で締め切り予定です。お早めにお申し込みください。

総合司会：横浜国立大学大学院 環境情報研究院 小池文人 教授

10:00-10:10 開会挨拶

—日本獣医生命科学大学 池本卯典 学長

第1部 アライグマ対策はどのように行われているか

10:10-10:50 日本における外来種対策の概要と法制度

—日本獣医生命科学大学 野生動物教育研究機構 機構長 羽山伸一 准教授

10:50-11:20 野生アライグマにおける繁殖実態と個体数増加のポテンシャル

—日本獣医生命科学大学大学院 獣医学専攻博士課程4年 加藤卓也

11:20-12:00 文化財などの民生被害と対策効果のモニタリング

—関西野生生物研究所 代表 川道美枝子 博士

12:00-13:00 休憩

第2部 国外事例にみるアライグマ問題と日本での先駆的研究

—アライグマ対策の今後のために学術が寄与できること

13:00-15:00 ヨーロッパで拡大するアライグマ：その生態と拡大実態（逐語訳通訳付）

—Polish Academy of Sciences, Institute of Nature Conservation, Prof. Henryk Okarma

15:00-15:20 休憩

15:20-16:00 遺伝子からみた日本のアライグマ拡大

—防衛医科大学校 共同利用研究施設 生体機能室 高田雄三 助教

16:00-16:40 アライグマのもたらす危険な病気とその蔓延の可能性

—山口大学 農学部 獣医寄生虫病学教室 佐藤 宏 教授

16:40-17:00 総括—閉会挨拶にかえて—

—関西野生生物研究所 代表 川道 美枝子 博士

